

令和5年2月9日開催

# 豊川市国民健康保険運営協議会

## 令和4年度第2回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和4年度第2回議事録

- 1 開催日時 令和5年2月9日(木)  
午後1時30分から午後2時53分まで
- 2 開催場所 豊川市役所防災センター1階 市民研修室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名  
被保険者代表 小 林 尚 美  
同 藪 田 千 賀  
保険医・保険薬剤師代表 板 津 一 平  
同 福 富 達 也  
同 星 野 正 英  
同 伊 藤 幸 剛  
公益代表 神 谷 典 江  
同 沼 田 俊 昭  
同 渡 辺 稔 明  
同 小 林 敬 子  
被用者保険等保険者を代表する委員 吉 田 雄 彦  
  
以上11名
- 5 欠席委員の氏名  
被保険者代表 緒 河 睦 子  
同 榑 原 るり子
- 6 説明のための出席者  
福祉部長 鈴 木 敏 彰  
同 次長兼保険年金課長 西 村 典 之  
福祉部保険年金課 課長補佐兼給付係長 加 藤 員 祥  
同課国保保険料係長 竹 本 裕 文  
同課国保給付係専門員 舟 橋 純 子
- 7 傍聴者 1名
- 8 議事日程  
議題 (1) 報告事項  
① 令和5年度国民健康保険事業費納付金について  
② 国保データヘルス計画の改訂及び令和4年度保健事業の状況について

## 会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定の定足数に達している。

## 会議経過

午後1時30分、事務局福祉部次長兼保険年金課長の司会により開会。

### ○司会（西村次長）

ただ今から、令和4年度第2回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。私は、福祉部次長兼保険年金課長の西村でございます。会の途中まで進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、はじめにお手元の資料の表紙をおめくりいただき、会議次第1の会長あいさつを神谷会長よりいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

— 会長あいさつ —

### ○司会（西村次長）

次に前回7月の第1回協議会でご紹介できなかった委員をご紹介いたします。

— 委員紹介 —

議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても「豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取扱い」に基づき、一般に公開しております。本日の傍聴人は1人です。また、会議録は要点筆記により公開いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以後の進行は、神谷会長にお願いしたいと思います。神谷会長、よろしくお願いいたします。

### ●神谷会長

会議次第に従いまして会議次第2の議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員には豊川市国民健康保険運営協議会規則第7条第2項により、「小林尚美委員」、「藪田千賀委員」の両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

次に会議次第3の議題につきましては、(1)の報告事項が2件でございます。なお、新型コロナウイルス感染症対策として、会議時間を短縮するため、会議終了は、午後2時30分を目途と考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、議事を進めさせていただきます。

次第3の議題(1)①「令和5年度国民健康保険事業費納付金について」、事務局に説明を求めます。また、事前質問がありましたら、併せて説明してください。

○竹本係長

「令和5年度国民健康保険事業費納付金について(資料1～5ページ)」説明。

— 質疑・意見の聴取に入る —

●神谷会長

ただいまの説明について、何かご質問やご意見はありますか。

●沼田委員

納付金が1万円上がったら、単純に保険料も1万円上がるわけではないことは分かりますが、繰越金は前期決算のものを充てるということでしょうか。

○竹本係長

そのとおりです。

●沼田委員

前期繰越金を充てなければ、高い保険料になるということでしょうか。

○竹本係長

はい、高い保険料となります。4年度決算では、6億円から7億円ほどの繰越金を見込んでおり、その一部を活用する予定でございます。

●沼田委員

被保険者が3万3千人か3万4千人ぐらいで、去年から今年にかけて2千500人ほど減っています。1人あたりの医療が2%ぐらい上がっていきだろと何年か前に出ていました。今後の見通しとして、人数はどんどん減ってくるため、保険料はどんどん上がると思っていいいのですか。

○加藤課長補佐

団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移っていますので、国保の被保険者数は減っていきます。そのため、医療費の総額は下がっていきますが、医療の高度化もあり、1人あたりの医療費は上がっています。事前質問の回答にありますように1人あたりの保険料は増加傾向となります。

●沼田委員

わかりました。

●神谷会長

沼田委員が懸念されていることは国でも言われていて、被保数の3.1%が

減少との試算が新聞などにありました。事務局の説明のとおり、団塊の世代が後期高齢者医療制度に移ってきているので、国保の運営を円滑にしていくためにも対策を考える時期がきていると思います。小林委員もうなずかれていますので、そう思いますか。

●小林委員

そうですね。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということによろしいでしょうか。それでは、議題（１）①「令和５年度国民健康保険事業費納付金について」の報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

— 質疑・意見聴取終了 —

●神谷会長

議題（１）②「国保データヘルス計画の改訂及び令和４年度保健事業の状況について」、事務局に説明を求めます。事前質問等がありましたら、合わせて説明してください。

○舟橋専門員

「国保データヘルス計画の改訂及び令和４年度保健事業の状況について(資料６～１７ページ)」説明。

— 質疑・意見の聴取に入る —

●神谷会長

ただいまの説明について、何かご質問やご意見はありますか。

●福富委員

フレイル対策などたくさんの資料をありがとうございます。事前資料が皆さんに渡してあるので、説明を短くして質問を中心とした進め方をした方が活発な意見が出ると思います。

●神谷会長

次回からはそのような進め方をしていきましょう。

●福富委員

医療の立場から意見を言います。データヘルス計画について、８ページ図２にありますように非肥満高血糖対策で豊川市の有所見者が減少しているので、成果が出ていると評価できます。ただ、良い面と悪い面があって、受診率が３割ぐらいなのでその対策を考えていく必要があります。せっかく良い施策があっても、受診をしてくれなければ意味がありません。その辺りの分析をもっと

するべきと思います。

医療費を削減するためにも元気なお年寄りを多くしていくフレイル対策をしっかりやっていくのが良いと思います。資料からも具体的にやっていることや課題も知ることができたので、それらをうまくPRして、特に受診していない方にどのように対策をしていくのが一番の課題と思います。

●神谷会長

フレイルという言葉が出てきたのも最近かと思いますので、地域のお年寄りにフレイルをもっと周知すべきかと思います。福富委員の言われるとおり、PRをうまくしていく必要があると思います。

●藪田委員

職場では被扶養者も含めて健診をするのは当たり前であったが、国民健康保険では受診の案内があつてから、今年は受診しようか、やめようかと考えてしまいます。企業などのように強制的に受診させるのは無理なのではないでしょうか。自分たちも隠れ糖尿病予備群であることを知らないし思いもしないので、何か啓発できれば意識が変わってくるのではないのでしょうか。

●神谷会長

成人式など何かの節目で意識できればいいなと思います。コロナの影響からの受診控えで受診率が下がってきましたが、受診しないことに慣れてしまい、コロナが無くなっても受診率が戻るのか懸念があります。

●福富委員

確かにコロナでの受診控えはあるのかもしれませんが、今、40健診というのがあるのですが、せっかく来ていただいているのに肝炎検査ぐらいで簡単すぎるので、特定健診の内容と同じようにやったほうが良いと思います。

●板津委員

元々40健診はどこの自治体でもやっていなくて、豊川市独自で始めた健診だと思います。当時はまだ糖尿病やメタボも少ない時代でした。

●福富委員

40健診ができたのは、昔この辺りでは注射の使い回しがあつて、C型肝炎が多い地域という名残で肝炎検査をしているのかもしれませんが、メタボとかの検査をした方が予備群としての意識を持つと思います。今回、特定健診でアルブミンや尿酸を検査しているのは良いことだと思います。慢性腎臓病が隠れて多いので、クレアチニンの検査をしていることも良いと思います。豊川市は良いことをやっていると思います。

●板津委員

通院中の方で特定健診をしている方は増えてきています。

●福富委員

特定健診は、項目としては充実していると思います。

●神谷会長

時代に即した有効な健診に変えていくことを提案できると良いので、先生方もアドバイスをお願いします。

●吉田委員

質問と情報提供でお話させていただきます。データヘルス計画の4、5ページあたりに疾病の状態というところで豊川市の分析がされています。これは豊川市独自で作成したのか、保健所あるいは県庁から提供されたのでしょうか。

○舟橋専門員

国保データベースシステムから県の情報を取り入れながら作成しています。

●吉田委員

何が言いたいかというと、県庁で各保険者からデータを集めて地域ごとに分析した本を作成しているので、単に作成して終わりではなく、現場でも使えるようにして提供してほしいと県にお願いしています。

県国民健康保険課主催の保険者協議会という組織があり、健保連でも愛知県医師会のご協力の下に、かかりつけ医で治療中の患者データを提供していただき、健診率を上げるという取り組みを去年ぐらいから始めています。勸奨のためにハガキを送られたり電話をかけられたりご苦労されていますけど、厚生労働省の特定健診特定保健指導の手引きに4年ぐらい前から記載されています国のフレームもあるので、県国民健康保険課に聞いて医師会とも連携しながら進めていただきたい。知らないことも多く、知ることのできることもあります。

●神谷会長

県の情報はいただいていますか。

○舟橋専門員

国保の情報だけではなく、健保組合、協会けんぽなどが含まれた情報が提供されています。そのため、国保だけというよりは、保健センターの健康づくり部門で健康づくり計画を策定するのに使用しています。データヘルス計画策定をする時にも連携しながら使用していきます。

●吉田委員

それは1点目で、もう1点は治療中のデータをもらって健診率を上げるやり方がありますから、詳しくは県庁の国民健康保険課に聞いてください。

○舟橋専門員

健診未受診者の8割ぐらいは、かかりつけ医でかかっていることが分かっていますので、かかりつけ医で健診を受診していただくことで受診率は上がります。

●吉田委員

そういうことをやっていただくと良い結果となってきます。

●神谷会長

今、吉田委員が言われたことも加味しながら、次期データヘルス計画を策定する必要があります。啓発の工夫もしながら、いろいろな手法を皆さんにアドバイスしていただきたいと思います。

他の委員から何かありますか。星野委員どうですか。

●星野委員

私もオーラルフレイルを考えて進めてきましたけど、口腔機能が低下しますと食べる意欲が無くなります。それが介護につながるので、しっかりと食べる、口腔機能を高めるということが大切だと思っています。

●神谷会長

伊藤委員どうですか。

●伊藤委員

先生方のお話を聞いて、効果的な事業をされていることが十分わかりました。

●神谷会長

小林委員、渡辺委員、何かご意見はございますか。

●渡辺委員

特にございません。

●神谷会長

他にこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。次回の運営協議会は、説明を簡略にして、皆さんでお話ができるような運営協議会にしたいと思います。

それでは、議題（1）②「国保データヘルス計画の改訂及び令和4年度保健事業の状況について」の報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

—— 質疑・意見聴取終了 ——

●神谷会長

次第4「その他」ですが、事務局お願いします。

○加藤課長補佐

2点ございます。1点目は、事前質問と回答のNo.5については、記載のとおりでございます。ご指摘のありました「豊川市の国保」について、文章が途中で切れている点につきましては、訂正後のとおりです。

2点目は、次回の令和5年度第1回国保運営協議会の開催日時について、7月13木曜日午後1時30分を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

●神谷会長

皆さんご予定をお願いいたします。予定していた議題は全て終了となります。皆さん、他に何かございますか。

○西村次長

先ほどご指摘のありました協議会の進め方につきましては、委員の皆様のご意見を聞けるようにしていきたいと思っております。

来年度は第3次データヘルス計画の策定がございます。皆様の活発なご意見をよろしくお願いいたします。

●神谷会長

本日はご多忙のところ、本当にご協力ありがとうございました。次回もよろしく願いいたします。これで散会とさせていただきます。

午後2時53分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和5年 月 日

会 長

\_\_\_\_\_

議事録署名委員

\_\_\_\_\_

議事録署名委員

\_\_\_\_\_